

マレットゴルフ月例大会

— 新座市 —



○高齢者が参加しやすいポイント

- ・ ボールが大きいため、スティックに当てやすい。
- ・ 年間利用券を購入することで、マレットゴルフ場をいつでも利用することができる。
- ・ 月1回大会を実施することで、大会でよい成績を出そうという目標を持つことができる。
- ・ 大会では、上位のみが表彰されるだけでなく、ラッキー7賞やぞろ目賞など多くの賞がある。
- ・ 2打目からは打数を数えながらプレーし、各ホール終了時にはグループで打数の確認や良かった点・悪かった点を気軽に話すことで交流の場となっている。
(グループについては抽選)

1 マレットゴルフの歴史

マレットゴルフとは、木づちを意味するマレットという名のスティックとボールを使い、決められた打ち出し地点からできるだけ少ない打数でホールにボールを入れることを競うスポーツで、発祥は1977年に福井市の職員によって考案された。また、1981年には長野県体育センターで講習会が開かれ、福井県から長野県にも広がっていった歴史がある。

さらに、1997年に日本マレットゴルフ協会（現：加盟団体29都道府県）が設立され、第1回マレットゴルフ全国大会が現在の石川県白山市において開催され、その後は全国大会が各地で開催されるようになった。

2 マレットゴルフ

基本的にはゴルフと同じであるが、マレットゴルフ用に開発されたスティックを使用して行う競技。

(1) ボール

直径75mmで重量210～240gのボール（ゴルフボール：直径42.67mm以上・重量45.93g）である。



(2) スティック

最初はゲートボールのスティックをベースに工夫改良し、真鍮のリングをヘッドの両面にはめたもの使用していた。しかし、最近ではアルミ合金やチタンなどのメタルヘッドに、ボロンやカーボン、スチールなどのシャフトを使ったスティックが一般的となっている。



(3) ホール

ホールによっては、コースが微妙に起伏していることやカップが難しい場所に切っていることなど工夫されている。



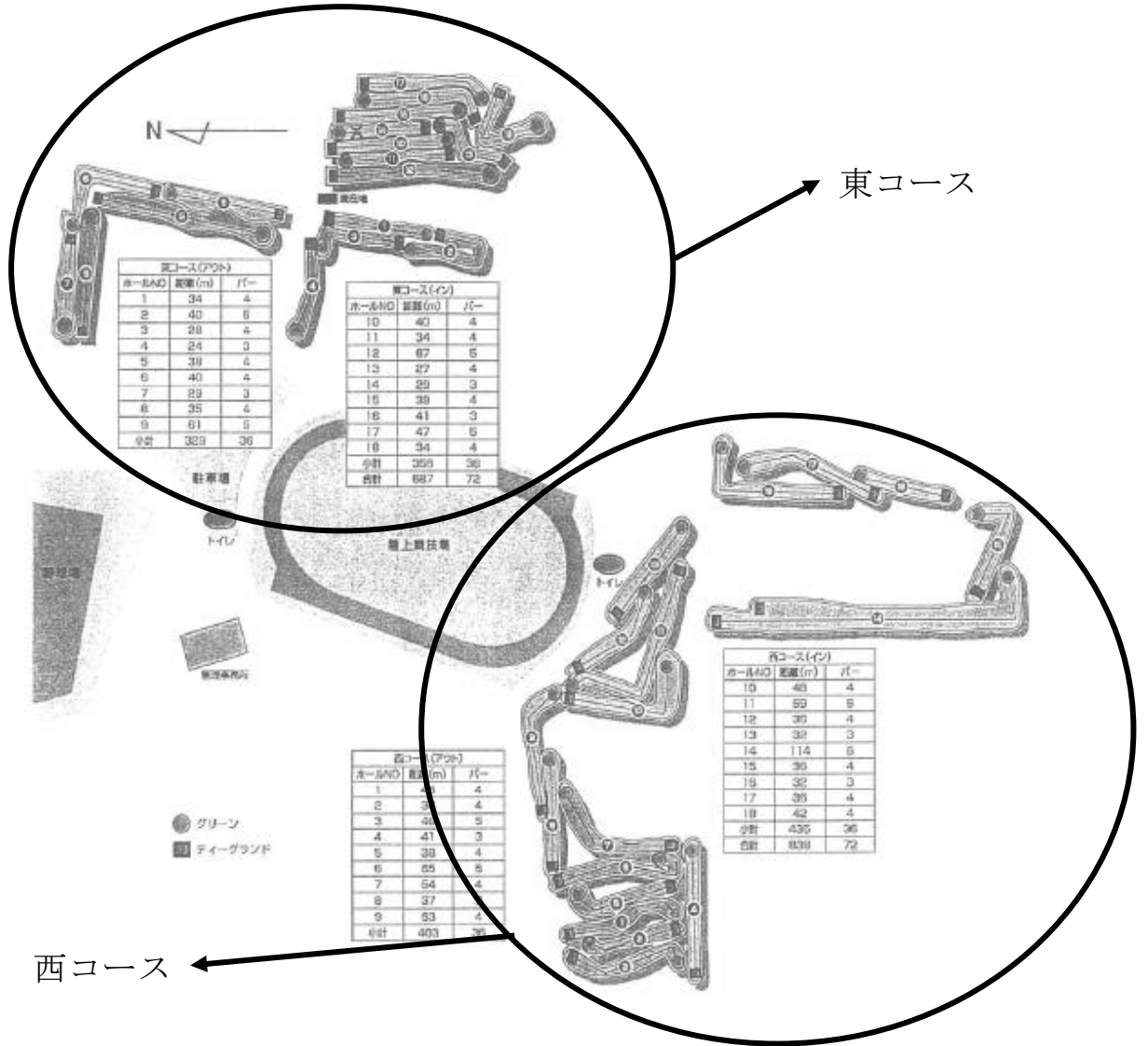
(4) プレー

- 18 ホール (パー72) で競う。
- ストロークプレーやマッチプレイなどの方法がある。



3 新座市総合運動公園マレットゴルフ場

- ・コース 全36ホール（東コース18ホール・西コース18ホール）
- ・利用時間 午前8時30分から午後5時まで
※4月～9月まで午前8時30分から午後6時まで
- ・その他 クラブ・ボールの貸し出しは無料



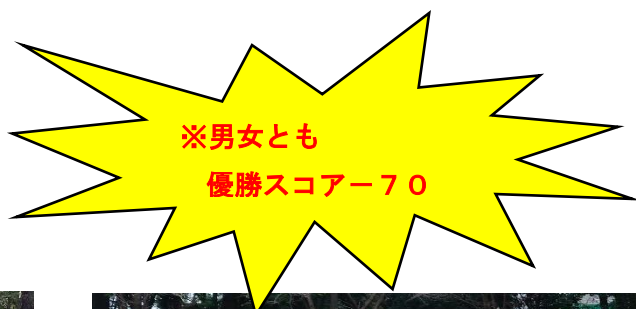
新座市総合運動公園マレットゴルフ場

4 大会風景

(1) グループに分かれてプレー

●参加者：70名

※優勝目指してプレー中



5 高齢者が参加しやすい事業による効果

- ・年間利用券があることにより、月例大会の参加者70名のうち、ほぼ毎日マレットゴルフ場を利用する方が約40名いる。
- ・手軽にできるスポーツということで、平均年齢が約75歳であり、一番年配の方は85歳を超えているが元気にプレーしている。
- ・大会参加者から、「前より良いスコアが出た」等の声が多く聞かれ、笑い声も色々なところで聞こえた。

6 大会観戦感想

マレットゴルフを観戦するのが初めてだったので、楽しみにマレットゴルフ場へ。そこには、立派なコースがあり、おまけに東コースに西コース合わせて36ホールも…

いよいよ大会が開始され、色々なところで「コン」という良い音が聞こえてきた。スティックでボールを打つ音とボールがカップに入る音～。

あるホールを見ると、カップに対して打つ方向が違うではないか、そっちに打つとOBではないか、どうして?でも、ボールはコースの微妙な起伏を利用して真中に…素晴らしい、楽しいスポーツだ!!

また、カップに近い方がよいのかと思いきやそうでもない。次に、打ちやすい場所に置くことが大事であるとのこと。こんなに奥深いスポーツとは!!

ぜひ、皆さんも奥深いマレットゴルフを実際にやってみませんか。

7 問い合わせ

公益財団法人新座市スポーツ協会 TEL:048-482-2002